

室神山

学校便り

平成29年7月20日号

江津市立江津東小学校長 安食 徹

1学期が終了しました。保護者並びに地域の皆様方そして関係諸機関・団体の皆様方には、本校の教育活動に対しまして、多大なるご支援ご協力をいただき誠にありがとうございました。今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

第1回避難訓練

6月12日（月）に避難訓練を実施しました。今年度一回目で、火災を想定したものです。全校児童が、真剣に訓練に参加し、ふざけたり、喋ったりしている子はいませんでした。学校全体で動くとき、その雰囲気を作るのは高学年の姿勢だと思っています。TPOをわきまえて、その時に適した行動をする力がついてきていると嬉しくなりました。

救急法講習



6月20日（火）の授業公開日に合わせて、救急法講習が行われました。今年度は、初めに命の大切さ、救急処置の重要さのわかるDVDを視聴し、一人一台のダミーを使っての心臓マッサージ、人工呼吸法の実技講習を行いました。

AEDの講習も受けました。和気藹々とした雰囲気の中、実技には真剣に取り組んでいる姿と「勇気を持って救急処置を！」と言われた講師の方の言葉が印象的でした。

給食試食会



6月20日（火）の授業公開日には、低学年の給食試食会も行われました。子どもたちは、保護者の方々を迎えての、いつもと違う雰囲気の給食タイムを楽しく過ごしました。給食もより一層おいしく感じたことでしょう。

また、2年生は、この日、食に関する指導も受けました。自分の成長にとって大切な『食』についての基本的な知識をしっかりと身につけ、今後の著しい心身の成長を健全なものとするよう、日常生活や給食で実践していけるような力を養ってほしいと思います。

学校でも今後引き続き、食に関する指導していきたいと思っておりますので、ご家庭においてもご協力の程よろしくお願いいたします。

東っ子を語る会



6月23日（金）に第1回東っ子を語る会がありました。5時間目に授業の様子を見ていただいた後、情報交換などを行いました。地域での様子などから様々なご意見をいただき、大変参考になりました。地域の皆様の学校に対する積極的な関心があつてこそ続けていられるこの『東っ子を語る会』は本校の特色と言えます。あと2回実施予定（学期に1回）です。積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

今後、いただいたご意見を生かし、職員一丸となって、一層の教育活動の充実に努めていきたいと思っております。大変ありがとうございました。

地区懇談会

7月4日（火）5日（水）に本校校区4地区で地区懇談会が開催されました。「夏休みのくらし」をもとに気をつけなくてはならないことなどが確認されました。夏休みは、子どもの生活場所が主に家庭や各地域になります。生活リズムが乱れないように見守りとご指導をよろしくお願いいたします。

また、校区には日本海、JR、国道9号線などの危険箇所が多くあります。いずれも事故が起これば命に関わる危険な場所です。学校でも危険への判断力や回避能力を育成するため、避難訓練や学習の中で安全教育を進めていますが、ご家庭でもご指導をよろしくお願いいたします。特に、夏休みの事故は前半に集中する傾向があるようです。生活パターンの変化や夏休みに入った解放感から、つい気が緩んでしまうからかもしれません。充実した夏休み、楽しい思い出いっぱいの夏休みになりますよう、ご家庭、地域の皆様方には子どもの安全につきまして、格別の見守りとご指導をいただきますようよろしくお願いいたします。

赤ちゃん登校日（最終）



5年生は7月8日（金）に最後の赤ちゃん登校日がありました。3回目の出会いで、関わりが一層深まり、子どもたちは積極的に、赤ちゃん家族と関わっていました。本当に何とも言えない温かい空気がその場に流れていました。たくさんのお話を学べた素敵な時間だったように見受けられました。子どもたちにとって深い、心に残る貴重な経験になったと思います。最後の挨拶で40年以上も前に見た映画の心に残っていた「僕は幸せだ。別れるのがこんなに辛い友達がいる」

という台詞を思い出し、紹介しました。人生は出会いと別れの連続ですが、その都度の出会いを意義のある、自分にとってかけがえのないものと捉え、自分の幸せにつないでいける子どもたちになってほしいと思いました。このような貴重な経験をさせていただいた帝京大学の高塚人志先生、赤ちゃんとその家族、江津市子育てサポートセンターの皆様を始め、ご協力いただいた多くの皆様に改めて感謝の意を表したいと思います。本当にありがとうございました。

不登校、半数が解決・改善～民生・児童委員の支援で～（連合会調べ）

5月22日の日本教育新聞に上記の興味深い記事が載っていました。全国民生委員児童委員連合会が民生委員制度創設100周年を記念して、昨年7月から9月にかけて調査したものです。（対象約20万人、回収率86.7%）『民生・児童委員が不登校問題と関わったところ、半数近くが解決あるいは改善したことが、全国民生委員児童委員連合会の調査で分かった』とのことです。『家庭内暴力や児童虐待への対応でも約半数が解決・改善に向かっている』のだそうです。学校と家庭、地域との連携が叫ばれて久しいですが、このような形でその効果が確認されたのは、とても喜ばしいことだと思います。6月25日（日）の午後には、都治地区で一日民生委員があり、小学校から4名の6年生が参加しました。民生委員の仕事を体験でき、とてもよい学びになったようです。これからも、家庭・地域・保育園・中学校との連携を深めていき、みんなが幸せになるような教育を目指してがんばっていききたいと思います。



児童朝礼（2年生・6年生）



7月13日（木）に児童朝礼がありました。今回は、2年生がサンピコごうつの見学、6年生は修学旅行の思い出についてまとめ、絵を使ってわかりやすく発表しました。

終業式で話したこと

皆さんの成長はなぜ起きたと思いますか？皆さん一人一人のがんばり、お家の人の支えがあったからというのは言うまでもありませんが、様々な出会いがあったからこそ起きたことだと思います。学校での出会いと言えば、先生です。担任の先生を始め、様々な場面でお世話になった先生方が、本気で皆さんに向かっていき、それに本気で皆さんが応えたから成長できたのです。改めて、1学期を振り返り、お世話になった先生方に感謝の思いをもってほしいと思います。また、友達との出会いも大切です。日々の友達との出会いも皆さんを成長させてくれたのです。友達に対しても、改めて感謝の思いをもってください。そして自分を高めてくれた沢山の人々に尊敬の気持ちをもってください。また、学びをしっかりと受け止め、消化し、自分の成長につなげることができた自分自身に対しても「お前、なかなかやるじゃん！」と、尊敬の気持ち（自尊感情）をもってほしいと思います。

それから、見守り隊や読み聞かせボランティアの方々、地域の方々、コミュニティーセンター、江津市教育委員会、給食センターの方々など、みなさんのために一生懸命になってくださる方がいます。1学期が無事に終わったのは、そういうの方々のおかげでもあります。改めて感謝と尊敬の思いをもちましょう。節目節目で感謝の思いを確認し、その方々を尊敬することは、これからの皆さんの成長において、大きな力になります。

さて、去年も話しましたが、命と時間と夢（希望）についての話をします。これらは実は同じものだと思います。水と氷と水蒸気のようなものです。命がなくなれば、時間も夢もなくなってしまいます。そこでストップです。夏休みは楽しいけれど、危険もいっぱいです。交通事故や水の事故など、充分に気をつけてください。安全については家の人としっかり話し合っ、校外生活の決まりを守り、大事な命を守ってくださいね。

また、時間がなくなるということも、命をなくしています。仮にオギャーと生まれて、すぐに眠りにつき、100歳まで生きて目が覚めて、すぐに死んだ人がいるとします。その人にとって時間はなかったも同じではないかと思えます。あっという間に100年が過ぎていったわけです。皆さん、そんなふうに生きたいですか？違うでしょう。100歳まで長生きできるからいいと思えますか？私はいやです。しっかり目を覚まして、自分に与えられた時間を有効に使いたいと思えます。時間は刻々と流れていきます。もちろん、ボーッとしたり、休んだりする時間も必要ですが、夏休みの自分に与えられた時間を遊びや勉強、いろいろなチャレンジに使って、成長のために役立ててほしいと思えます。

そして、夢（希望）を失うということは、生きる意味を失うということです。何のために生きているかわからなくなります。そうすると、やる気が出なくなります。いきいきと生活することができなくなります。寝ているのと変わらなくなってしまいます。ですから、どうか「夏休みの終わりにはこうなりたいな」とか「学年の終わりにはこうなりたいな」とか「将来はこんな人になりたいな、あんな仕事がしたいな」などのたくさんの夢をもって、それを追いかけてください。みんなの夏休みが、素敵な生きた時間の詰まったものになるよう願っています。

では、最後に校長先生から、一つ宿題を出します。それは去年と同じ『親切など、自分が善いと思うことを人に内緒でやる』ということです。陰の行です。今年はまだ一つ加えます。『感謝日記（ありがとう貯金）』です。一日の終わりに「自分がしたことでも上手かったこと」「誰かにしてもらったことでもありがたかったこと」「偶然のことだけど、また起こってほしいこと」を見つけてほしいと思えます。高学年はこの三つを毎日見つけることに挑戦してほしいと思えます。中学年はどれか二つ見つけてください。低学年は「ありがとう」と言いたくなることを一つでいいので、毎日見つけてください。そうすると、きっと元気が出ると思えます。感謝して幸せになる力がつきます。それを夏休みに挑戦してほしいのです。相手がいるならば、できるだけ「ありがとう」と声に出して伝えてほしいと思えます。

『ありがとう』と言われたときは、どんな気持ちになりますか。きっと嬉しいと思えます。なぜかと言うと『ありがとう』という言葉には『助かった。あなたがいてくれてよかった』という気持ちがこもっているからです。お礼を言ってくれた人があなたの存在を大事と思い、認めてくれているからです。なかよし集会や江東中学校との合同人権集会で学習する『人を大事にすること』『人権を尊重すること』ができていた瞬間だからです。『ありがとう』と伝えた人にとっても、人を大事にし、受け入れることができた瞬間、人間として大きく成長できた瞬間なのです。だから両方とも気持ちがいいのです。たくさん『ありがとう』を言って、たくさん幸せになってください。納税額日本一の実業家の斎藤一人さんが『感謝しないで生きると、この世はひどい目に合うようにできている』と言っています。たくさん感謝して、幸せな素晴らしい夏休みにしてください。